

箱入りハマダンゴの本能

ハマダンゴムシとの共同生活が始まって、早2年が経過しようとしています。企画展に合わせて頂いたハマダンゴムシを「会期中は生かしておかなければ！」という使命感で飼い始めたものの、想像以上に頑丈で未だに生き延びています。中には死んでしまった個体もありますが、夏に次世代が生まれたので全体の数は大きく変化していません。

彼らは餌や水に困らないだけでなく、夏は涼しく、冬は暖かい室内で生活しています。温室育ちどころか冷暖房完備室育ちの「箱入りハマダンゴ」たちなのです。野生では到底生きていけなさそうなのが家のハマダンゴムシたちですが、身を守る仕組みは備わっているようで、急に周囲が明るくなる



慌てて砂に潜るハマダンゴムシの後ろ姿。帰宅するとみんなこの状態なので切なくなります。

と一目散に砂に潜ります。例えば、私が仕事から帰宅して、電気をつけようものなら申し訳ないくらいの勢いで散っていくのです。誰かに教わったわけでもなく、生まれながらに備わっているこの仕組みは「負の光走性」と呼ばれ、太陽光が当たり乾燥する場所を避けるために進化の中で獲得したとされています。一目散に逃げていく姿を見ると「2年も一緒なのに。」と切なくなりませんが、長い進化史の中で獲得した生き残る術が指先ほどしかない小さなからだに詰まっていると思うと、尊重したい気持ちになります。その結果、私の帰宅時間が遅くなり彼らの活動時間と重なるときは暗闇の中で食事をとるようになりました。

ID 0203429

10月イベントカレンダー

ショー ワークショップ おはなし かんさつ

- 4 観て触れて、科学と親しもう！
- 5 紙飛行機の科学
〜飛び方のひみつを探ろう〜
- 11 光の不思議に挑戦
〜光のマジックを解き明かそう〜
- 12 電子顕微鏡講座
生きもののからだを見てみよう！
- 13 展示解説
「アンモナイトの世界」
- 17 親子バイオ教室
DNAをとりだしてみよう
- 18 一般科学講座ユリカ①
×ナイトミュージアム
ミクロの世界をのぞいてみよう
- 19 観て触れて、科学と親しもう！
オリジナル入浴剤をつくらう！
- 25 化石の日講演会
「ヒトの来た道
〜波乱万丈の進化史〜」
- 26 おはなしライブ
魚つりゲームづくり
- 26 電子顕微鏡講座
身近なものを見てみよう！
- 展示解説
「彩る石たち
〜鉱物の色と形のひみつ〜」

各イベントの時間・定員・申込方法などは科学館ホームページで確認してください。

化石の日 講演会

ヒトの来た道 一波乱万丈の進化史

環境変動に翻弄され続けてきた人類の進化の歴史をふり返ります。

- とき 10月19日 日 午後2時〜3時
- ところ 1階 メディアホール(対面) 要予約
YouTubeライブ(オンライン配信) 予約不要
- 講師 公益財団法人日本モンキーセンター 学術部 エducーター
高野 智
- 対象 一般向け(小中学生の参加も歓迎します！)
- 定員 40人(対面) 参加費 無料



10月18日 国 までに、QRコードから申し込み。



ID 0212974

